

令和8年度 アオコ情報（北浦 No. 2）

7月16日に実施した調査の結果についてお知らせします。

- フィコシアニン濃度^{※1}は、巴川沖、武田川沖及び山田川沖でアオコレベル1相当^{※2}でした。

北浦のアオコレベル

<北浦>

- ・ 巴川沖、武田川沖及び山田川沖でアオコレベル1相当（フィコシアニン濃度：63～87 µg/L）、武井沖及び釜谷沖でアオコレベル0相当（フィコシアニン濃度：35～45 µg/L）でした。

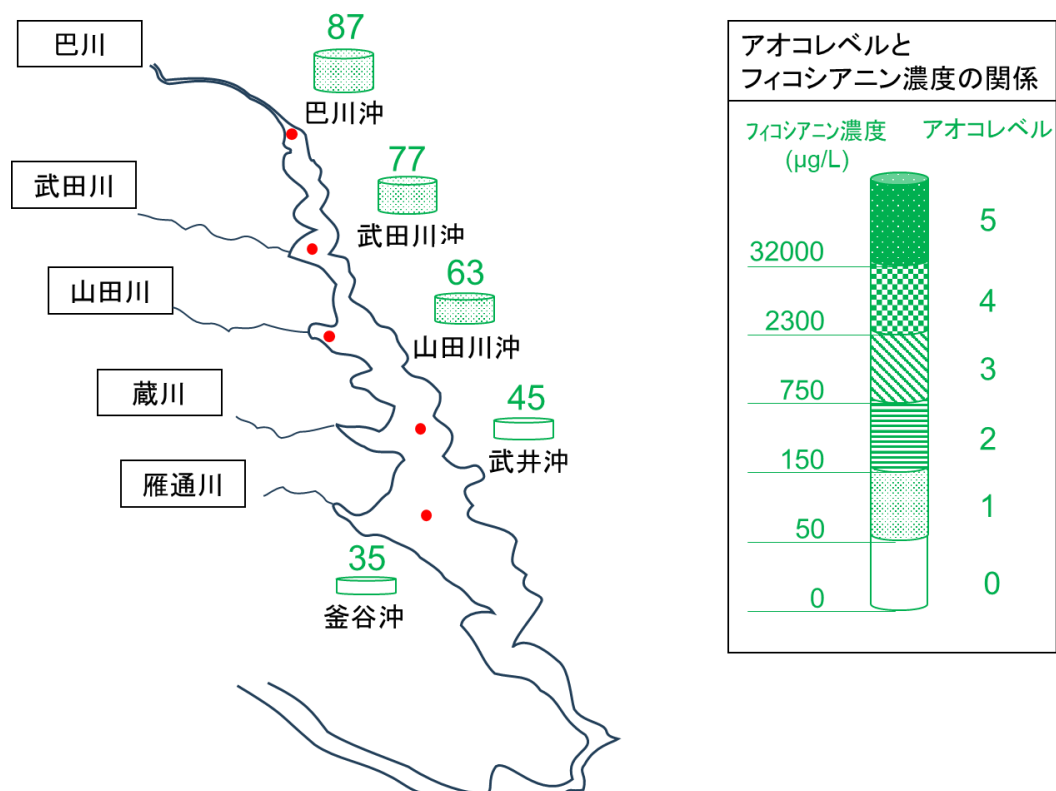


図1 フィコシアニン濃度の分布

※1 フィコシアニン

アオコの原因となる植物プランクトン（藍藻類）に含まれている色素です。フィコシアニン濃度はアオコの現存量と一定の相関があるため、アオコ現存量の目安になると考えられています。

※2 アオコレベル

アオコの発生状況を視覚的に把握するための指標です（参考：国土交通省霞ヶ浦河川事務所 HP: <http://www.ktr.mlit.go.jp/kasumi/kasumi00313.html>）。フィコシアニン濃度は、アオコレベル1で50 µg/L程度、アオコレベル2で150 µg/L程度、アオコレベル3で750 µg/L程度、アオコレベル4で2300 µg/L程度、アオコレベル5で32000 µg/L程度です（小日向ら, 2012）。各レベルの写真は、別紙に掲載しています。

● 調査結果の詳細

表 調査結果

	北 浦				
	巴川沖	武田川沖	山田川沖	武井沖	釜谷沖
採水時刻	7 月 16 日	7 月 16 日	7 月 16 日	7 月 16 日	7 月 16 日
	10:06	10:22	10:37	10:52	11:12
水温 (°C)	29.6	29.7	30.0	29.5	29.2
pH	8.5	8.8	9.4	9.2	9.2
EC (mS/m)	30.0	28.4	29.3	33.0	34.4
透視度 (cm)	24.5	28.5	28.0	35.0	46.0
フィコシアニン (μg/L)	87	77	63	45	35
クロロフィル a (μg/L)	130	88	71	43	29

● (参考) アオコレベル

